

第10回 三遠南信しんきんサミット

アンケート調査にみるリニア開業後に関する意識

去る11月18日浜松市において三遠南信地域9金庫（遠州：浜松、磐田、掛川、遠州の4信金、東三河：豊橋、浜松、蒲郡の3信金、南信州は飯田と本年度からアルプス中央信金が加入し2信金）の共催による第10回三遠南信しんきんサミットが開催されました。サミット企画として三遠南信に関するアンケート調査が今回も実施されました。



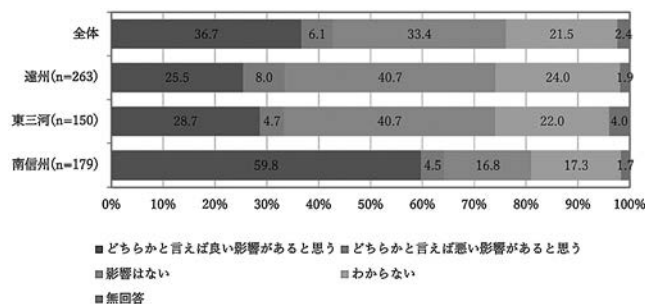
第10回三遠南信しんきんサミット講演会

アンケート調査結果の全体については機会を改めて紹介いたしますが、アンケート調査にリニア新幹線に関する項目がありますので、ここに着目して概要を報告します。尚、本年度のアンケート調査の計画および調査結果の取りまとめは、幹事金庫の浜松信用金庫と関連シンクタンクの静岡県西部地域しんきん経済研究所が担当しました。

1. リニア中央新幹線の地域への影響は

アンケート調査の回収数は、遠州地域263、東三河地域150、南信州地域は179です。「①リニア中央新幹線の開通はあなたの地域にどのような影響を及ぼしますか」では、「良い影響」が遠州25.5%、東三河28.7%、南信州は59.8%です。「影響はない」が、遠州地域と東三河地域が同率の40.7%、南信州地域が16.8%となっています。

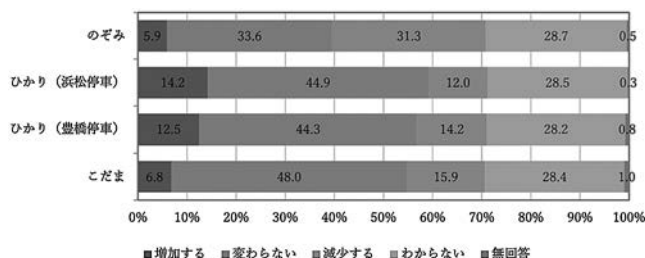
① リニア中央新幹線開通のあなたの地域への影響は？



2. リニア開通後の東海道新幹線の運用状況は

注目の設問は、リニア中央新幹線の開通後、東海道新幹線の運用状況がどうなるか、です。JR東海は、のぞみがりニア新幹線に振替わることで、ひかり・こだまの本数を増加でき、各地域のニーズに応えられる、と説明していますが…。

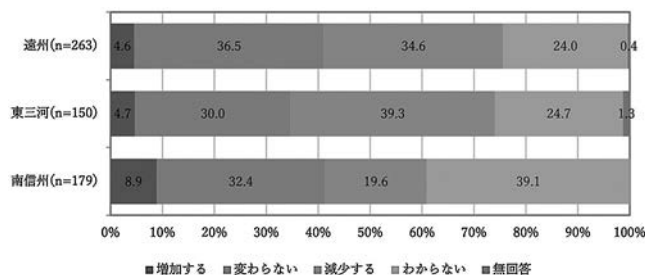
② リニア中央新幹線開通後の東海道新幹線の運用状況は？



(1) のぞみの運行状況

のぞみについては、「増加する」が3地域で4%~9%。遠州地域、東三河地域では「変わらない」と「減少する」が拮抗していますが、東三河地域は「減少する」がやや上回っています。

③ リニア中央新幹線開通後の「のぞみ」の運用状況は？



(2) ひかり (浜松停車)

ひかりが浜松駅を停車する本数が「増加する」は、遠州地域では12.2%、東三河地域では21.3%。東三河地域では「ひかりの停車が増加するとすれば、浜松駅では」と考えられている可能性が窺われます。

(3) ひかり (豊橋停車)

ひかりが豊橋駅を停車する本数が「増加する」は、遠州地域で8.4%、東三河地域では21.3%で、東三河地域が遠州地域の3倍近い比率。両駅での停車本数(平日の上り下り計)は豊橋駅がひかり18本のこだま66本、浜松駅はひかり36本にこだま68本。ひかりが浜松駅は毎時1本以上停車するのに対し豊橋駅は2時間に1本という現状がこの結果に出ていると考えられます。

(4) こだま

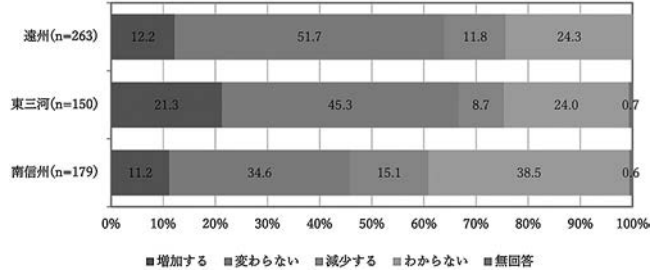
こだまについては両地域とも「増加する」が6%程度。両駅ともこだまは1時間に2本の停車となっており、こだま停車増のニーズは多くないとみられます。

3. リニア新幹線と三遠南信自動車道と東海道新幹線

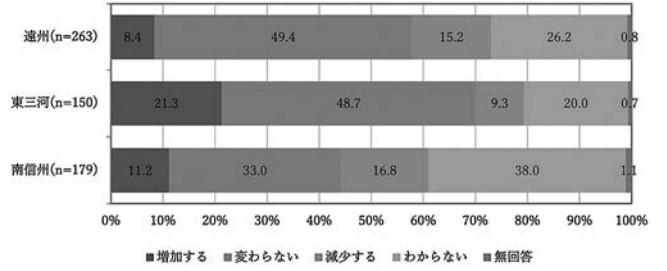
愛知大学三遠南信地域連携研究センター長の戸田敏行教授の調査(2010年)によると、リニア新幹線が開通し三遠南信自動車道と結節することにより、東海道新幹線よりもリニア新幹線に乗る方が所要時間を短縮できる区域が三遠南信地域内に相当広がることが示されています。三遠南信地域内に、リニア・東海道の両親幹線の運行状況を見てどちらに行くかを判断する時代がやってくる、ということです。

浜松・豊橋両駅の調査結果から、新幹線が1時間に1本以上停まることは地域の満足度の上で決定的と考えられます。南信州地域として「リニア長野県駅に毎時1本以上の停車」を求めていくことは極めて重要な課題といえます。

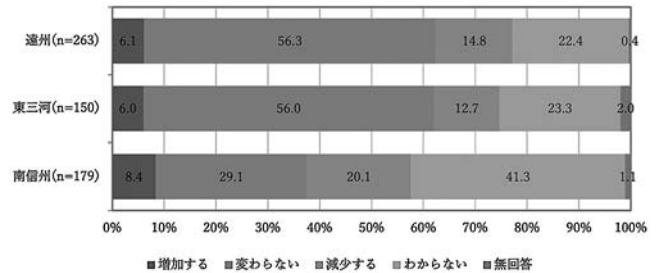
④ リニア中央新幹線開通後のひかり (浜松停車) は?



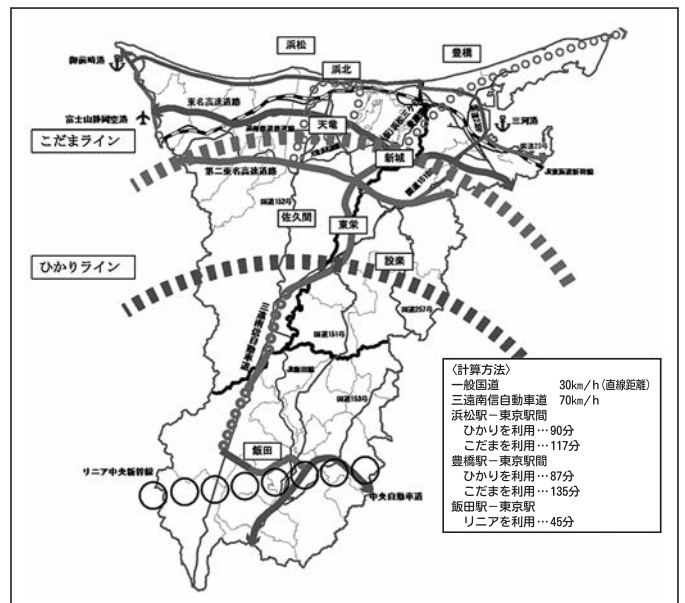
⑤ リニア中央新幹線開通後のひかり (豊橋停車) は?



⑤ リニア中央新幹線開通後のこだまは?



リニアによる交通圏変化



(愛知大学三遠南信地域連携研究センター 戸田敏行教授の調査結果 2010年作成) (道路の表記、所要時間等は調査時点のもの)

(飯田信用金庫 地域サポート部 リニア対策課 加藤 修平)